

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第40週(令和8年9月28日～令和8年10月4日)

<発生動向>

第40週は、結核の報告が5件ありました。結核の主な症状は咳や痰、発熱等で風邪の症状に似ていますが、風邪との違いは症状が数週間続き、治ったと思ったらまた繰り返すことです。2週間以上、咳や痰が続く時は医療機関を受診しましょう。症状がなくても職場の健診などで年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

また、日本紅斑熱の報告が2件ありました。日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに咬まれることで感染します。発熱、発疹、および刺し口が主要な三兆候とされ、抗菌薬による治療が行われます。草むら等に入る際は、ダニ忌避剤の使用や肌の露出を避けるといった対策を行いましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	5	132	11	592	150	10,963
腸管出血性大腸菌感染症	2	41	4	173	61	3,316
日本紅斑熱	2	2	4	13	20	437
梅毒	4	97	10	549	53	8,491
破傷風	1	1	1	5	0	83

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	10	0.43	0.96	72	0.59	4,671	1.25
インフルエンザ	171	7.43	7.35	1,094	8.97	26,678	7.17
急性呼吸器感染症	1,423	61.87	62.39	6,959	57.04	155,282	41.84
RSウイルス感染症	21	1.62	2.46	81	1.16	1,882	0.84
咽頭結膜熱	5	0.38	0.31	47	0.67	329	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.15	0.92	127	1.81	1,625	0.72
感染性胃腸炎	68	5.23	5.46	316	4.51	4,990	2.22
水痘	4	0.31	0.15	23	0.33	350	0.16
手足口病	3	0.23	0.38	28	0.40	1,685	0.75
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	3	0.04	53	0.02
突発性発しん	5	0.38	0.46	26	0.37	428	0.19
ヘルパンギーナ	3	0.23	0.15	18	0.26	1,330	0.59
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.08	2	0.03	63	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	1	0.04	1	0.00
流行性角結膜炎	18	3.00	1.17	121	4.65	350	0.51
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.50	0.00	2	0.13	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	2.00	0	0.00	247	0.52
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	5	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	1	0.00

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。